

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール 応募団体を紹介します！ ～釧路ブロック～

【有】 仁成ファーム



事業拡大を進める中、従業員の労働体系をどのような形にすべきか検討していたところ、地域の福祉事業者等と協議する機会があった。そこで2017年に設立された農福連携施設の音羽協働センターに、牛舎内作業の一部委託を実施。障害を抱える人たちに通年の作業を確保している。



根室・室根交流の会



根室市と室根町(岩手県一関市)の、逆さ地名が縁で平成11年に設立。マラソン大会の開催によるスポーツ親善交流、互いのお祭り等で地元特産品を販売、特産食材を生かした創作料理の開発、そのほか文化交流、北方領土早期返還運動の推進、小中学生の交流支援等に取り組んできた。



北海道厚岸翔洋高等学校 海洋資源科
アナジャコチーム



地元の漁業者からの相談により発足。アナジャコのアサリへの影響について、あさり島と厚岸湾内の干潟で調査を行っている。これまでアナジャコの巣穴の多いところにはアサリが少ない傾向はあるが、アナジャコがアサリに悪影響を与えているとまでは言い切れていないため、今後も調査方法を工夫し、調査を続けていく。

また、アナジャコを地域の食材として活用することで、アナジャコを減らしてアサリを守る取組をしている。これまでに専門家のアドバイスを受けて改良を重ね、アメリカソース、姿焼きせんべい及びがん漬(塩辛)の商品開発を行っている。今後、更なる改良を重ねて商品化を目指している。



別海町女性農業士会



農業の振興を推進し農家生活の改善や農村文化の向上を図るため、酪農畜産に従事する女性が地域発展のリーダー的役割を果たし、別海町の活性化に寄与する観光農園を管理・運営している農園などの視察や、乳製品を使用したレシピを考案・試作・ミルクレシピのパンフレット化や出前授業を行い、酪農業を広く認識してもらう活動を行っている。



北海道標茶高等学校 (牛乳班)



標茶町を盛り上げる、元気づけることを目的に、高校生が主体となってそれぞれの得意なことを活かし、地域の方々の協力を得ながら、さまざまな方面からのアプローチを行っている。先輩方の活動を引き継ぎ4年目となる現在は、町の新たな目玉となる特産品開発や小さいお子さんに向けた牛乳の魅力を伝える紙芝居、牛乳の消費拡大を目指し、料理動画の制作、町を題材にして、町をPRするブラウザゲームの開発を行っている。

